



# ご利用にあたって

- 「安全情報」は医療・福祉関係の方に向けて発信したものです。一般の方に向けた内容ではございませんのでご注意ください。
- 内容は、いずれも発行日時点のものです。常に最新の情報をご確認ください。



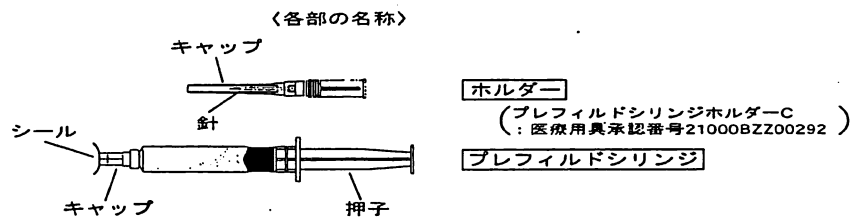
# メディジェクトKの正しい使用方法を再確認し、安全な注射業務の実施を

「KCL注・アスパラK注」などの高濃度カリウム製剤での医療事故をうけて、メディジェクトKの採用がすすんでいます。

メディジェクトKは、専用のプレフィルドシリンジホルダー（以下、ホルダー）を装着しない状態では注入できない仕組みになっています。このメディジェクトKを「専用のホルダーをつけないと静注できない」製剤という認識をもっていませんか？この認識は、メディジェクトKの使用法を全く理解していないことになります。

この医薬品の開発コンセプトは、簡便に清潔に輸液への追加補正を実施するためであり、図のようにホルダーを輸液に装置した後に必要なカリウムを輸液に追加するための製剤です。

## <操作方法(添付文書から)>



1		ホルダーのキャップが針に触れないように、まっすぐはずす。
2		ホルダーの針を輸液剤の混注口にゆっくと、まっすぐ穿刺する。
3		シリンジ先端部のシールをはがし、ホルダーに嵌合させる。
4		薬剤を注入する。
5		薬剤注入後、シリンジ、ホルダーの順にはずす。

「輸液+ホルダー」へ「メディジェクトK」を装着するという手順を誤るとどうなるでしょうか？

いつも使用している注射筒へシリンジを装着するように、「ホルダー+メディジェクトK」として扱うと極めて簡便に側管注が可能な危険性の高い製剤へ変貌してしまいます。この危険性を重視してメディジェクトK不採用としている施設もあります。

**◇メディジェクトK採用施設では、あらためて添付文書にもとづいた使用手順について徹底をしてください。**

全日本民医連では、8月19日付緊急通達で、アンプル型高濃度カリウム製剤を病棟・外来から撤去するよう、呼びかけていますが、より安全性を高めるために、

**◇メディジェクトKについても病棟保管せず、薬剤部門での管理を徹底してください。**